

平成 2 8 年度 学校版環境 I S O への取組 概要報告

管内	市町村	学校名
天草	天草市有明町	天草市立有明中学校

1 取組の概要

項目	活動の様子 (写真)	取組の実際
宣言	 <p>有明中版ISO生徒宣言項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内の節水に努めます <small>(水の使用量を昨年より3%減らす)</small> ○校内の節電に努めます <small>(電気を昨年より3%減らす)</small> ○校舎・校庭の美化に努めます ○ゴミの分別・削減に努めます <p>生徒宣言項目の掲示</p>  <p>生徒集会での環境 ISO についての説明</p>	<p>平成 2 8 年度 環境 ISO 生徒宣言項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内の節水に努めます(前年度より 3 %削減) ○校内の節電に努めます(前年度より 3 %削減) ○校舎・校庭の美化に努めます ○ゴミの分別・削減に努めます <p>平成 2 8 年度 環境 ISO 職員宣言項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○紙の消費量を減らします(前年度より 3 %削減) ○電気を節約します(前年度より 3 %削減) ○ゴミの分別・削減に努めます <p>平成 2 8 年度 家庭版環境 ISO 宣言項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水を節約します ○電気を節約します ○ゴミの分別・削減に努めます <p>・生徒集会で「学校版環境 ISO」の意義、活動についての説明を行い、全校生徒に知らせ意識付けを行った。</p>
行動	 <p>節水の呼びかけポスター</p>  <p>ちょボラ運動</p>	<p>①節水への具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 歯磨き用のコップを用意し、歯磨き時の水の使用量を減らす。(歯ブラシ等は衛生的に保管する。) イ 清掃時は雑巾用のバケツを使用し、使用量を減らす。 ウ ポスター等を使用し啓発活動を行う。 <p>②節電への具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 使用しない部屋の電気はこまめに消す。 イ 使用しない機器のコンセントを抜く。 ウ ポスター等を使用し啓発活動を行う。 <p>③校地・校舎・地域の美化への具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ちょボラ運動 毎週木曜日の放課後など時間を決めて委員会でボランティア活動を行った。ボランティアの心を深め、生徒が気持ちよく過ごせる環境にできるように取り組んだ。



四郎が浜ビーチ清掃

イ 長期休業期間中に部活動毎に一斉清掃を行った。活動している場所を清掃し成果を残すことで、感謝の気持ちと達成感を感じさせることができた。

ウ 地域の方と協力して働くことを通して、地域の一員としての自覚と、郷土を愛する心を育むことを目的とした、四郎ヶ浜ビーチ清掃を地域の管理組合の協力のもと行った。

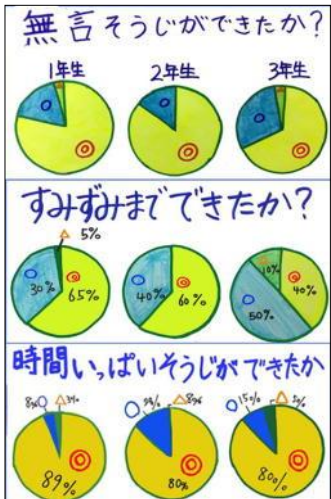
エ 地区生徒会での地域清掃活動を長期休暇中に実施。学期末の地区生徒会で協議し、清掃が必要な場所を考え、計画を立て実行した。それぞれの地域で行うことで、地域の一員であるという意識を持たせ、何か自分でできることがないか考えさせることができた。

④ ゴミの分別・削減

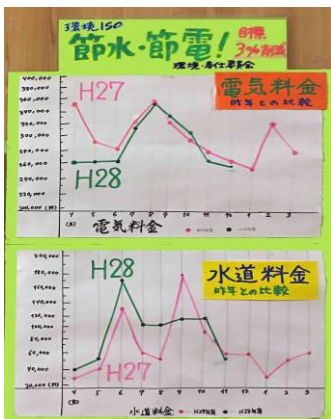
ア 教室や職員室に回収ボックスを置き、裏紙を利用するなど、無駄なゴミを出さないようにしている。

イ 各教室に燃えるゴミ、燃えないゴミのゴミ箱を設置し、ゴミの分別を徹底している。

記録



掃除チェックの集計を掲示



電気使用量・水道使用量

① 環境委員会での掃除チェック

縦割り班掃除の状況について、「無言掃除」「すみずみまで」「時間いっぱい」の観点から、生徒全員と班長がチェックを行い、改善点などを確認する。班での仲間作りや自主性を伸ばし、班長のリーダーシップをさらに高められるように取り組んでいる。

② 電気使用量・水道使用量の記録

毎月の電気・水道使用量を記録し、校内に掲示する。生徒朝会などで報告や呼びかけを行った。

② 環境意識調査 (ISO チェックカード)

各自カードに取組を記録して委員会で集計結果をまとめ、生徒朝会等で報告する。

見直し		<p>① 毎月の常任委員会で、各学級の取組の様子を報告。活動の反省と、生徒の環境に対する意識や行動が高まるための話し合いを行い、学級で報告する。</p> <p>② 1年間の記録を集計し、常任委員会で年間の成果や課題を検討し、生徒朝会等で伝える。また、反省を生かし、一段高い目標を目指した次年度の計画につなげる。</p> <p>③ 節水を呼びかけているが、水漏れがあり、数値でのきちんとした対比ができない。しかし、それも踏まえて節水を考える機会とし呼びかけをする。</p>
-----	--	---

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○今年度は環境 ISO を含めたボランティア活動を推進し、今までの活動を見直した。「掃除チェック」や「ちょボラ運動」などの活動を積極的に推進してきた。その結果、ボランティアスピリット賞でコミュニティー賞を受賞し、福岡市での九州ブロック表彰式に代表が参加した。これまでの活動の成果が認められたことで、生徒の意欲を向上させることができた。</p> <p>○継続的な取り組みで、「ISO」という言葉が生徒の間に定着している。「無駄をなくそう」「環境にいいことをしよう」という意識を持ち、行動に移そうとする生徒が増えてきている。</p> <p>○職員全員が共通理解を持ち、使用済用紙の分別 ・裏紙の積極的利用に取り組んでいる。</p>	<p>●節水・節電への取組については、現在までのところ昨年よりも低い水準で推移している。今後も、委員会を中心に日頃の学校生活を見直し、節水・節電の呼びかけを行いたい。</p> <p>●「掃除チェック」や「ちょボラ運動」などの活動をさらに継続させ、新たな伝統とするために、学校生活の中に無理せず定着を図るような体制作りが必要である。</p> <p>●学校版環境 ISO には環境奉仕委員会が主となり取り組んでいるが、仕事量が多く環境奉仕委員会のみでは取り組みきれない現状がある。各委員会に仕事を割り振り、学校全体で取り組む必要がある。</p>